

JA-LPA

震災対策テーマに講演

日常の備え重要に

物流施設に対する評価、診断などを行う日本協議会（JALP）物流不動産評価機構推進

A、望月光政委員長は五日、都内で大震災と物流不動産をテーマとしたセミナーを開催し、物流関係者ら百七十人が参加した。講演から東日本大

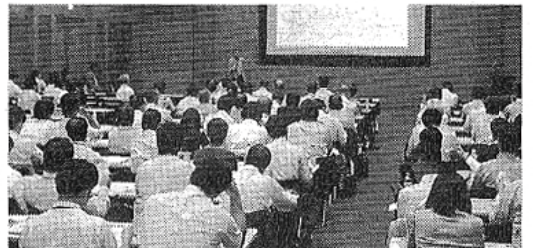
震災の教訓、復興へ向け課題を学び、参加者には今後の震災対策やBCP（事業継続計画）の立て方など物流不動産の在り方を考えてもらうのが狙い。

「物流の視点から見た震災対応」と題した流通経

済大学の矢野裕児教授の講演では、今回の緊急支

援物資輸送に①支援物資を仕分けする集積所の在

セミナーには多くの参加者が詰め掛けた



河田栄司社長が耐震構造と免震構造の違いなどについて、映像を交えて分かりやすく解説。

震災から物流施設を守るためには①日ごろからの施設管理②建築に精通した人材の育成③緊急時の資金面の確保—などが欠かせないとして、耐震補強や荷崩れ対策、施設立地のリスク分散などが必要になるとした。

セミナーでは他にも日本政策投資銀行による被災地の詳細な分析、清水建設の耐震技術の紹介なども行われ、参加者が講演者に直接質問する場面も見られた。

（小林 孝博）

「物流の視点から見た震災対応」と題した流通経

映像交え分かりやすく解説

また物流施設の震災対策では、日本物流施設の

援物資輸送に①支援物資を仕分けする集積所の在